

MPT-H1

取扱説明書



モバイルクリエイト株式会社




Rev1.0 – 2015

安全上のご注意



～ 必ずお守りください ～

本機を安全に正しくご使用していただくために、次のことを十分に注意してください。

■ 表示の説明

 危険	死亡や重傷を負うおそれ大きい内容を示しています。
 警告	死亡や重傷を負うおそれがある内容を示しています。
 注意	傷害を負うことや、物的損害を負うおそれがある内容を示しています。

■ 図記号の説明

	必ず守って頂きたい注意事項です。
	参考にして頂きたい事項です。

警告

- 自動車を運転しながら本機を操作しないでください。運転者が操作する場合は、車を安全な場所に停車してから使用してください。
- 航空機内や病院内での設置、運用はしないでください。電子機器や医療機器に影響を与える可能性があります。
- 引火性ガスの発生する場所では設置、運用はしないでください。発火事故の原因になる可能性があります。
- 心臓ペースメーカー装着者は使用しないでください。ペースメーカーに影響を与える可能性があり、誤動作による事故の原因となります。
- 自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くで使用しないでください。本機からの電波で機器に影響を与える可能性があり、誤動作による事故の原因となります。
- 前方視界を妨げる場所や運転操作の邪魔になる場所に設置、運用はしないでください。怪我や事故、故障の原因となります。
- 運転中は車外の音が聞こえるよう、スピーカーの音量に注意してください。怪我や事故の原因となります。
- 分解や改造をしないでください。怪我や事故、故障の原因となります。

注意

- 直射日光の当たる場所に設置、運用はしないでください。樹脂の変形や変色、故障の原因となります。
- 強い衝撃を加えたり投げつけたりしないでください。故障の原因となります。
- 指定の装置以外と接続しないでください。故障の原因となります。
- 磁気カードなどに本機を近づけないでください。キャッシュカードなどの内容が消去される場合があります。
- 清掃にシンナーやアルコールなどを使用しないでください。樹脂の変形や変色、故障の原因となります。

電池パック取り扱いの禁止事項

危険

- 電池パックを分解や改造はしないでください。電池パックには、危険を防止するための安全機構や保護装置が組み込まれています。これらを損なうと、電池パックが発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。
- (+)と(-)を針金等の金属で接続しないでください。また、金属製のネックレスやヘアピン等と一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。電池パックがショート状態となり、過大な電流が流れ発熱、発煙、破裂、発火、あるいは針金やネックレス、ヘアピンなどの金属が発熱する原因となります。
- 電池パックを火の中に投入したり、加熱したりしないでください。絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や安全機構を損傷したり、電解液に引火したりして発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
- 電池パックを火のそば、ストーブのそばなどの高温の場所(80℃以上)で使用したり、放置したりしないでください。熱により樹脂セパレータが損傷した場合、電池パックが内部ショートし、発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。
- 電池パックを水や海水などにつけたり、濡らしたりしないでください。電池パックに組み込まれている保護装置が壊れると電池パックが発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。
- 火のそばや、炎天下などでの充電はしないでください。高温になると危険を防止するための保護装置が働き、充電できなくなり、保護装置が壊れて異常な電流や電圧で充電され、電池パック内部で異常な化学反応が起こり、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
- 指定以外の充電条件(指定以上の高い温度、指定以上の高い電圧・大きな電流、改造した充電クレイドルなど)で充電しますと、電池パックが過度に充電されます。更に異常な電流で充電され、電池パック内部で異常な化学反応が起き、発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。
* 充電クレイドル使用温湿度範囲: 0~40℃ / 45~85%RH
- 釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。電池パックが破裂、変形され内部でショート状態になり、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
- 強い衝撃を与えたり投げつけたりしないでください。電池パックを漏液、発熱、発煙、破裂、発火させる原因となります。また、電池パックに組み込まれている保護装置が壊れると、異常な電流や電圧で充電され、電池パック内部で異常な化学反応が起こり、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
- 外傷、変化の著しい電池パックは使用しないでください。発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
- 電池パックに直接ハンダ付けしないでください。熱により絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や安全機構を損傷したりして発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
- (+)と(-)とを逆に使用しないでください。充電時には逆に充電され電池パック内部で異常な化学反応が起きたり、放電時には思わぬ異常な電流が流れたりして、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
- 電池パックはプラス・マイナスの向きが決められています。充電クレイドルや機器に接続するときうまくつながらない場合は無理に接続しないで、プラス・マイナスの向きを確かめてください。逆につなぐと電池パックが逆に充電され、内部で異常な化学反応が起こり、電池パックが発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。
- 電池パックを電源コンセントや、車のシガレットコンセントなどに接続しないでください。高い電圧を加えられることによって、過大な電流が流れ、電池パックが発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。
- この電池パックを指定機器以外の用途に使用すると、電池パックの性能や寿命が低下したり、機器によっては、異常な電流が流れたりして電池パックが破損したり発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
- 電池パックが漏液して液が目に入った時は、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。放置すると液により目に障害を与える原因となります。

警告

- 乾電池などの一次電池や容量、種類、銘柄の違う電池を混ぜて使わないでください。使用中に過度に放電されたり、充電時に過度に充電されたりして、電池パック内部の異常な化学反応によって、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
- 充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめてください。電池パックを発熱、発煙、破裂、発火させる原因になるおそれがあります。
- 電子レンジや高压容器に入れたりしないでください。急に加熱されたり、密閉状態が壊れたりして発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
- 電池パックが漏液や異臭がするときには直ちに火気より遠ざけてください。漏液した電解液に引火し、発煙、破裂、発火の原因となります。
- 電池パックの使用、充電、保管時に異臭を発生したり、発熱をしたり、変色、変形その他今までと異なることに気がついたときには機器あるいは充電クレイドルより取り出し、使用しないでください。そのまま使用すると、電池パックが発熱、発煙、破裂、発火する原因になる恐れがあります。

注意

- 直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温の場所で使用したり、放置したりしないでください。漏液、発熱、発煙の原因になるおそれがあります。また、電池パックの性能や寿命を低下させることがあります。
- 電池パックには危険を防止するための保護装置が組み込まれています。保護装置にダメージを与えるような静電気(100V以上)が発生する場所で使用しないでください。保護回路が壊れ電池パックが漏液、発熱、発煙、破裂、発火する原因になるおそれがあります。
- 電池パックの充電温度範囲は 0°C~40°Cです。この温度範囲以外での充電は電池パックを漏液、発熱、破損させる原因になります。また、電池パックの性能や寿命を低下させることがあります。
- ご使用前に必ず取扱説明書、または注意書きをよくお読みください。また、お読み頂いた後大切に保管し、必要なお読みください。
- お買い上げ後、初めてご使用の際に、サビや異臭、発熱、その他異常と思われたときは、使用しないでお買い上げの販売店にご持参ください。
- 電池パックは乳幼児の手の届かないところに保管してください。また、使用する際も、乳幼児が充電クレイドルや使用機器から取り出さないように注意してください。
- 電池パックが漏液して液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因になるおそれがあります。

電池パックのリサイクルについて

電池パック(リチウムイオンバッテリー)はリサイクルできます。
希少な金属を再利用するために、不要になった電池パックは廃棄せず、全国のリサイクル協力店、協力自治体、リサイクル協力事業者にご相談ください。



正しくご使用していただくために

- 本製品は携帯電話通信網を使って通信を行っております。本製品の保証範囲は携帯電話通信網を含めて保証するものではありません。本システムの特性を十分に理解し、使用者の責任に於いてその利益を活用するようにしてください。
- 付属品は全てモバイルクリエイティブ株式会社が販売しているものを使用してください。市販品や自作物をご利用にならないでください。製品保証の対象外となります。
- 筐体の材質は PC+ABS樹脂です。運搬時は投げたり落としたりしないでください。機器が壊れます。またネジを外し分解しないでください。性能劣化や故障の原因となり製品保証の対象外となります。
- 本製品は、特別な品質 / 信頼性が要求され、その故障や誤動作が生命維持や財産に著しく関わるような医療機器 / 防災 / 防犯セキュリティ機器等としては使用する場合は、当社にご相談下さい。
- 直射日光が当たる箇所には設置しないでください。性能低下や故障の原因となります。
 - * 推奨使用環境温度: 0°C~+45°C
- 汚れたまま長期間放置するとメッキや塗装が剥がれる場合があります。定期的に乾いた柔らかい布で乾拭き清掃を行ってください。
- 通話する際は、本機から 5cm 程離してご利用ください。距離が近いと相手に届く音声が割れたり歪んだりする場合があります。
- パケット通信サービスエリア内であっても、トンネル内や車庫内など電波の弱い場所や、通信回線の状態(ネットワーク回線工事や混線)などの影響で、通話中に音声が途切れる場合があります。
- 本製品のファームウェアは、リバース・エンジニアリング、逆アセンブルまたは逆コンパイルすることはできません。また改変改作を行うことはできません。
- 本製品に関して記載される著作権、特許、実用新案、商標等の知的財産権の表示を削除または改変することはできません。
- 本製品は日本国内でのみ使用されることを前提に設計されております。日本国外での使用は出来ません。

! ご使用にあたって

お客様の責任に於いてご使用されることによって、お客様もしくは第三者に損害が生じても、かかる損害が直接的または間接的または付随的なものであるかどうかにかかわらず、弊社は一切の責任を負いません。ご使用の際は、使用環境・条件等に十分配慮し誤動作防止対策・火災延焼対策などの安全性・信頼性の向上対策を施すなど万全を期されるようご注意ください。

防水・防塵性能での事項

注意

- 正しくお使いいただくために、「防水・防塵性能」の内容をお読みの上、正しくご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、浸水や砂・異物などの混入の原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

本製品は背面カバー、各外部接続端子キャップ及びフックをしっかりと取り付けた状態で IP6X(旧 JIS 保護等級 5)(注 1)、IPX7(旧 JIS 保護等級 6)(注 2)の防塵防水性能相当を有しております。

注 1: IP6X とは、耐塵試験用粉塵(直径 75 μm)が入らないように保護されている。

注 2: IPX7 とは、水に浸しても影響がないよう保護されている。

- 実際のご使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合は、保証の対象外となります。
- 本製品が濡れている状態で充電を行うと、感電や回路のショート、腐敗が発生し、発熱による火災や故障の原因となります。
- 本製品は防水性能を有する機種ですが、電池パックの取り外し等で背面カバーを脱着した際に水などの液体が入った場合には、ご利用をやめてください。そのまま使用すると、発熱・発火・故障の原因となります。
- 付属の充電クレイドルは防水・防塵性能を有していません。水など液体が直接かからない場所をご利用ください。万が一、液体がかかった場合には直ちに電源プラグを抜いてください。
- 本製品の防水・防塵機能を発揮するために、アクセサリカバー、背面カバー、USB キャップをしっかりと取り付けた状態で、ご使用ください。

無線製品としての事項

注意

- 本製品は、アンテナを含めて技術基準適合証明(工事設計認証)を受けた製品です。その証として、「技適マーク」が本体内で確認できるようになっています。

確認方法

[メニュー] → [09:機能設定] → [06:機器状態確認] → [08:バージョン情報]
→ [03:認証情報]

- このMPT-H1は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この指針は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)について、これが2W/kgの指針値を超えないこととしています。この指針値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。

この無線機器の側頭部におけるSARの最大値は0.634W/kg、身体に装着した場合のSARの最大値は0.742W/kgです。個々の製品によって多少の差異が生じることがありますが、いずれも許容値を満足しています。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省電波利用ホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

社団法人電波産業会電磁環境委員会

<http://www.arib-empf.org/index02.html>

警告

- お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一改造などにより本体や周辺機器などに不具合が生じても当社では一切の責任を負いかねます。本製品の改造は電波法違反になります。また、日本国以外ではご使用になれません。

各部のはたらき

本体



表示画面

GPS アンテナレベル

GPS 受信アンテナ受信レベルを表示します。

3G アンテナレベル

パケット通信網のアンテナ受信レベルを4段階で表示します。

テロップ機能

「時刻」、「マナーモード」、「着信」等の情報を表示します。

通話モード

現在の通話モードを表示します。

選局

現在の通話モードで、選局している局番号などを表示します。

外部マイク接続状態

外部マイクが接続された状態を表示します。

左上ボタン機能

左上ボタンの機能を表示します。

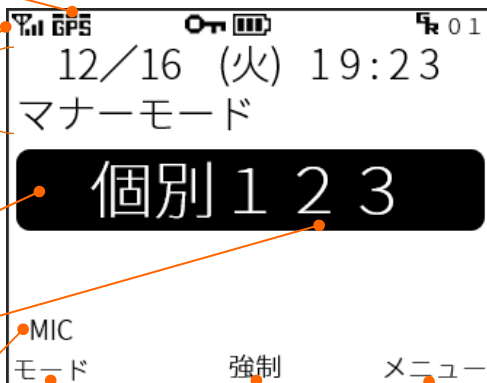
上下/決定ボタン機能

上下/決定ボタンの機能を表示します。

右上ボタン機能

右上ボタンの機能を表示します。

(待受け画面)



キーロック状態

ボタンが無効状態を表示します。

電池状態

電池残量や外部電源供給を表示します。

(通話中画面)



通話状態

通話中の際に表示されます。

音量

出力設定しているスピーカ音量を表示します。
通話中は上下ボタンの上下で音量を変更できます。

強制通話状態

強制通話中の際に表示されます。

電池パックの 取り付け/取り外し

電池パックの取り付け/取り外し

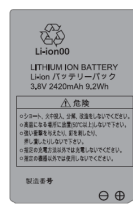
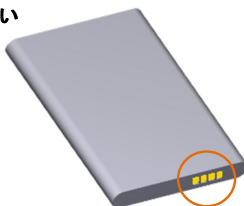
- 1 : 底面にある背面カバーフックを下向きにずらし、背面カバーを取り外します。

- 2 : 電池パックを本体の上からすべらせるように装着し、背面カバーの上部ツメと本体の背面カバーフックの溝を合わせて取り付けます。



❗ 電池パックの向きに注意してください

電池パックの底面にある金色の端子が右下向きになるように取り付け(左図)、装着後、右図の文字が見えるようになります。



❗ 電池パックが正しく取り付けられていないと、故障や思わぬ事故の原因となります。

ベルトクリップの 取り付け/取り外し

ベルトクリップの取り付け/取り外し

- 1 : ベルトクリップ穴をベルトクリップネジ穴に合わせ、ベルトクリップ穴からベルトクリップネジを通し、ネジを締めます。
- 2 : ベルトクリップネジを緩めて外します。



充電のしかた

充電クレイドルでの充電手順

- 1 : 充電クレイドルと AC アダプタをつなぎ、AC アダプタと AC100V コンセントをつなぎます。



- 2 : 本体側面にある溝と、充電クレイドルにあるガイドを合わせるように挿しこみます。

- 3 : 本体のチャージャーLED が赤色に点灯し、充電が完了するとランプが消灯します。

*1) 予備バッテリー装着時に用います。



- * 充電時間は約 180 分です。(電源 OFF 時)
- * 充電中も通信は可能ですが、通信状態により充電時間が長くなります。
- * 充電完了後は、電源コードをコンセントから外してください。
- * 予備バッテリーについては、販売店にお問い合わせください。

マイクロ USB ポートでの充電手順

- 1 : 底面にあるキャップ(USB キャップ)を開けると
マイクロ USB コネクタ(マイクロ B メス)が出ます。

- 2 : 汎用マイクロ USB ケーブルを用意して、
本体正面とマイクロ USB コネクタ正面を
合わせてつなげます。
そして、本体とつけた反対側と電源供
給元(PC等)をつなげます。



- 3 : 本体上面にあるチャージャーLED が赤色に点
灯し、充電が完了するとランプが消灯します。



チャージャーLED

消灯 : 電池未装着時、充電完了時


赤色点灯 : 充電時

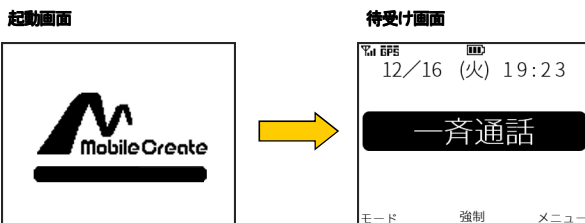
- ! * 電池パックを本体から外した状態で充電しないで下さい。
- * 以下の充電条件を守って行ってください。
充電器使用温湿度範囲: 0~40°C / 45~85%RH

- !! * 充電時間は約 360 分です。(電源 OFF 時)
- * 充電中でも通信は可能ですが、通信状態により充電時間が長くなります。

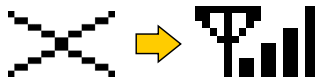
電源の入/切

電源を入れる


- 1 :  をステータス LED が点灯するまで長押しすると、本体がバイブして電源がオンになります。
電源ボタン
- 2 : 画面表示が点灯し、起動画面を表示します。
各部のチェックを終えると待受け画面を表示します。



* 起動後、すぐには通話できません。
通話をする際は画面のアンテナレベルを
確認してください。



電源を切る

- 1 :  を長押しします。
電源ボタン
- 2 : 本体がバイブし画面に「OFF」のメッセージが表示され終了します。

OFF 画面



電池残量について

電池残量表示の見かた

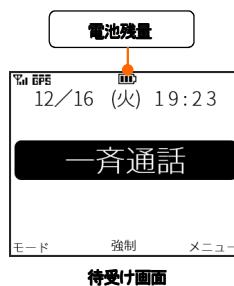
ご使用中、待受け画面上部に電池残量を表示します。



目盛が多いほど、電池残量があります。

目盛がなくなりチャージャーLED が赤点滅を始めたら、本体に装着したまま充電するか、新しい電池パックに交換してください。

充電中は、電池残量アイコンが充電中  を表示します。



- * 充電、放電をくりかえすと電池パックは劣化します。
劣化し使用時間が極端に短くなったときは、新しい電池パックに交換してください。
- * 低温環境では、電池残量が実際より少なく表示される可能性があります。

エコモード

エコモードは、消費電力を抑えるモードです。




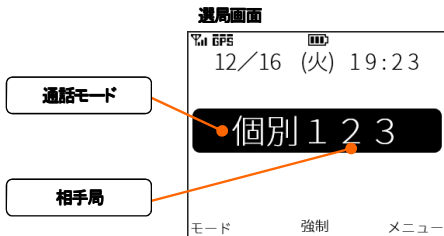
- * エコモードを ON に設定している場合、設定時間何も操作しないとエコモードに切り替わります。
設定方法 [メニュー] → [09:機能設定] → [01:一般設定] → [05:エコモード設定]

通話のしかた

かけるとき（発信）

画面で選局されている通話モードにて、発信を行います。
通話モードの切り替え方は、「P21:通話モードの切り替え方」を参照してください。

- 1 : 発信したい通話モード、相手局が間違いないか確認し、プレスボタンもしくは、を押します。



- 2 : 呼出音「プップッ…」のあと、接続完了すると「ピッ」と効果音がなります。

- 3 : 通話するときは、プレスボタンを押しながらマイク集音口に向かって発話してください。



アンテナレベルについて


通話できません
(接続前)


電波状態が悪い

 → 
電波状態が良好

* アンテナレベルはあくまで目安であり通信品質を保証するものではありません。
電波状態が良好な場合でも、通話中に音声途切れる場合があります。

うけるとき（着信）

1 : 着信音が「ピッ」と鳴り、画面に通話モードが表示されます。

2 : プレスボタンを押しながら通話できます。

■ 通話モード別の着信音

個別通話	着信音「ポピッ」
強制系の通話	着信音「ポポーピッ」
他の同報通話	着信音「ピッ」

着信画面



他の同報通話 …… グループ通話、一斉通話、指令局通話 など

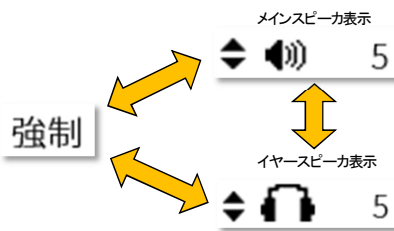
音量のかえかた

待受け画面で  を回すと、右図のよう
音量ボタン



に画面下部にある「強制」表示からメインスピーカ

もしくはイヤースピーカ表示に切り替わり音量

を変えることができます。



音量変えた時の画面変化

メインスピーカ表示中は、  もしくは  で音量を変更することができます。

音量ボタン

上下ボタン

イヤースピーカ表示中は、  で音量を変更することができます。

上下ボタン

音量「0」を選択すると、マナーモードになります。

通話中、もしくはメニュー内の音量設定画面でも音量変更が行えます。



❗ 良い音で通話するために

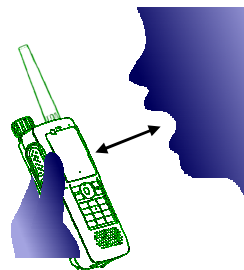
通話する際は、本機を 5cm 程離してご利用ください。
距離が近いと相手に届く音声が割れたり歪んだりする場合があります。

メニューからマイク感度を変更することができます。


設定方法

[メニュー] → [09:機能設定] → [03:音質設定]
→ [02:マイク感度]

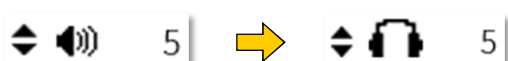
声の大きさにあわせて相手が聴きやすい音質に変更してください。





マナーモード


待受け画面で  を反時計に回し続けると下図のようにメインスピーカ表示からイヤースピーカ表示に
音量ボタン

切り替わりマナーモードになります。切り替わるとメインマイク入力、メインスピーカ出力からイヤーマイク入力、イヤースピーカ出力に替わります。

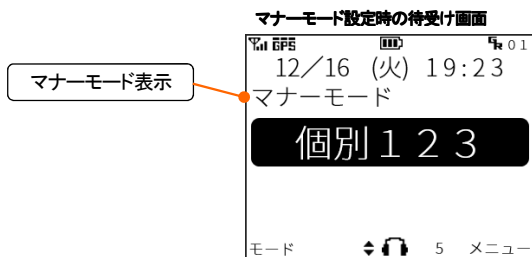



マナーモード切替え

 音量が表示されている間、 の上下でイヤースピーカ音量を変更することができます。
上下ボタン

マナーモードを取り消す場合は、待受け画面で  時計回りさせます。
音量ボタン

マナーモード中の待受け画面は、マナーモードをテロップ表示します。



-  バイブ設定が ON の場合
- * マナーモード切り替わり時に、バイブが振動します。
 - * 着信時は、設定したバイブパターンでバイブが振動します。

通話のしかた

様々な通話モード

■ 標準的な通話モード

個別通話	他の無線局と1対1の通話ができます。
指令局通話	グループ内のすべての指令局と同時に通話ができます。
一斉通話	すべての無線局と一斉に通話できます。
グループ通話	グループ内のすべての無線局と同時に通話ができます。
チャンネル通話	同一チャンネル番号に登録している無線局と同時に通話ができます
周辺通話	発信元の移動局を中心に、既定の距離以内に存在する顧客内の全局と同時に通話ができます。

■ 強制割り込み通話モード

強制個別通話	通話中の無線局を強制的に終話させ、個別通話に参加させます。
強制指令局通話	通話中の指令局を強制的に終話させ、指令局通話に参加させます。
強制一斉通話	通話中の無線局を強制的に終話させ、一斉通話に参加させます。
強制グループ通話	グループ内で通話中の無線局を強制的に終話させ、グループ通話に参加させます。
強制チャンネル通話	同一チャンネル番号内で通話中の無線局を強制的に終話させ、チャンネル通話に参加させます。
強制全指令局通話	通話中のすべての指令局を強制的に終話させ、全指令局通話に参加させます。

■ 特別な用途の通話モード

全指令局通話	他グループの指令局も含む、すべての指令局との通話ができます。
--------	--------------------------------

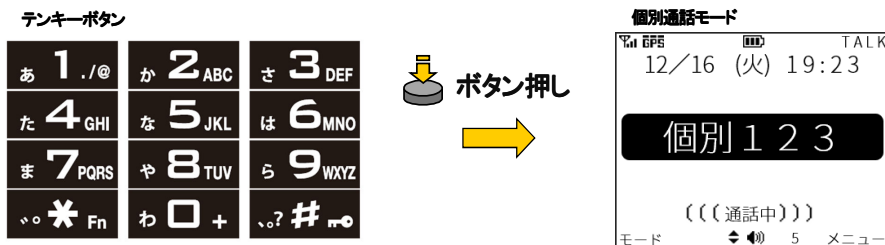


* 通話モードの追加や変更は、販売店による設定が必要です。
詳しくは販売店にお問い合わせください。


通話モードの切り替え方

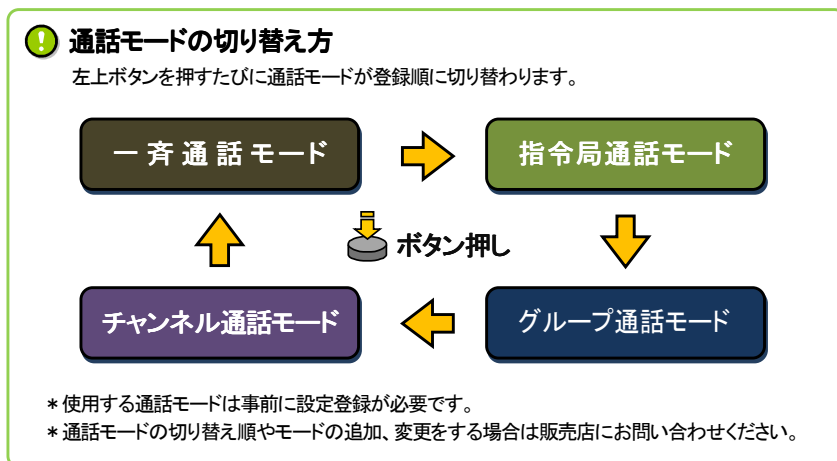
■ 個別通話の場合

- 1 : 待受け画面で、テンキーボタンから局番を入力すると個別通話モードに切り替わります。
ただし、待ち受け画面がチャンネル通話モードでの入力は、チャンネル番号となります。



■ 他の通話モードの場合









- 1 : 待受け画面で、 を押しと、通話モードを切り替えます。
左上ボタン
登録している通話モード順に切り替わります。

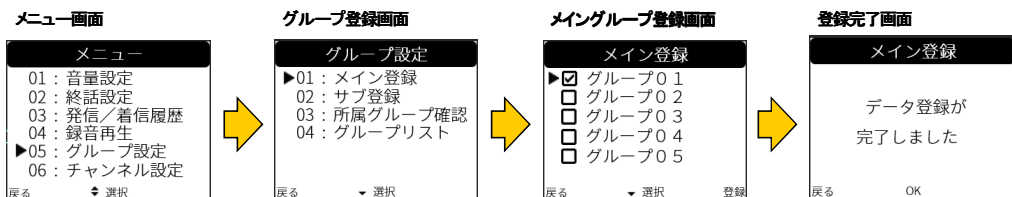


べんりな機能

グループ登録

■ 設定方法

- 1 :  で [メニュー] 画面に切り替えます。
右上ボタン
- 2 :  で [05:グループ設定] を選択し、 で設定画面に進みます。
上下ボタン 決定ボタン
- 3 :  で [01:メイン登録] を選択し、 で登録画面に進みます。
上下ボタン 決定ボタン
- 4 :  で選択し、 でチェックをつけ、 で登録を行います。
上下ボタン 決定ボタン 右上ボタン









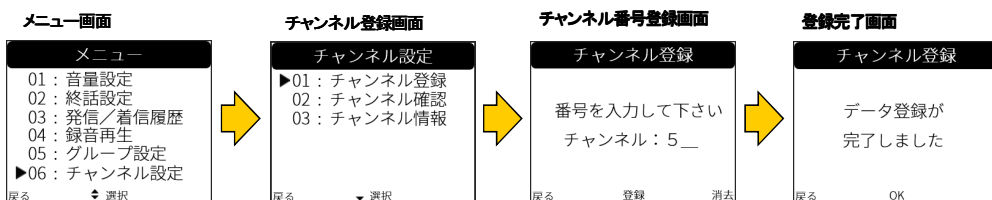
- * グループ登録には、パケット通信を行うため、電波状況が悪い場合、登録に失敗することがあります。失敗した場合、再度登録を行ってください。
- * お使いの機器の設定によって、使用できない場合があります。詳しくは販売店にお問い合わせください。

べんりな機能

チャンネル登録

■ 設定方法

- 1 :  で [メニュー] 画面に切り替えます。
右上ボタン
- 2 :  で [06:チャンネル設定] を選択し、 で設定画面に進みます。
上下ボタン 決定ボタン
- 3 :  で [01:チャンネル登録] を選択し、 で登録画面に進みます。
上下ボタン 決定ボタン
- 4 : テンキーで入力し、 で登録します。
登録ボタン



- ❗ * チャンネル登録にはパケット通信を行うため、電波状況が悪い場合、登録に失敗することがあります。失敗した場合、再度登録を行ってください。
- * お使いの機器の設定によって、使用できない場合があります。詳しくは販売店にお問い合わせください。

終話設定






通話が終わった際の、待受け画面の選局状態を以下の設定で変更できます。

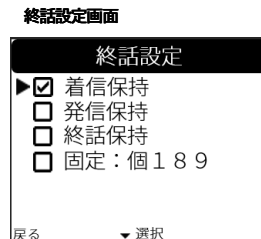
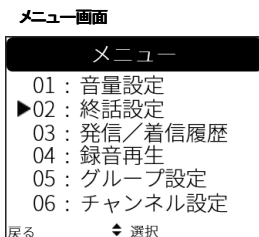
■ 終話設定

着信保持	相手局からかかってきた場合の通話モードを終話後、保持します。 個別通話の場合は局番も保持します。
発信保持	自らが発信した局番、通話モードを終話後、保持します。
終話保持	発信着信に関係なく、最後に通話した局番、通話モードを終話後、保持します。
固定	終話後に、ここで設定した局番、通話モードに切り替わります。 登録してあるすべての個別局、通話モードを選択できます。

❗ 固定で設定する通話モードは事前に設定登録が必要です。
詳しくは販売店にお問い合わせください。

■ 設定方法

- 1 :  で [メニュー] 画面に切り替えます。
右上ボタン
- 2 :  で [02:終話設定] を選択し、 で終話設定画面に進みます。
上下ボタン 決定ボタン
- 3 :  で設定したい終話設定を選択し、 でチェックをつけると登録完了となります。
上下ボタン 決定ボタン



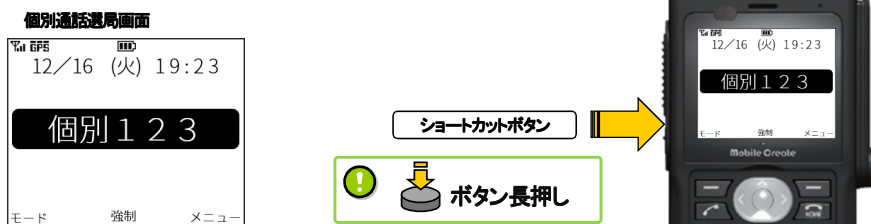
べんりな機能

ショートカット機能

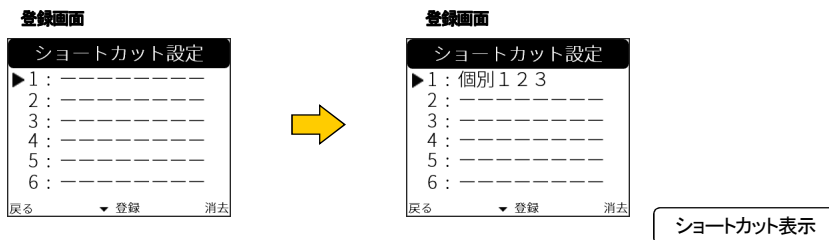
よく使用する通話モードや、個別局、よく見るメニューの項目など、ショートカット登録する事で簡単に呼び出せるようになります。最大10件の登録が可能です。

■ 登録方法（例：個別局 123 をショートカット登録する場合）

- 1 : 個別局 123 を選局状態で、ショートカットボタンを長押しします。



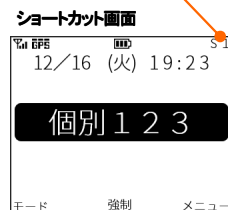
- 2 : ショートカット登録画面となり、 で選択し、 で登録します。
- 上下ボタン 決定ボタン



■ 呼出

- 1 : ショートカットボタンを押すと登録順に画面が切り替わります。

- * 複数登録している場合は、登録番号の若い順に呼び出されます。
- * お使いの機器の設定によって、使用できない場合があります。詳しくは販売店にお問い合わせください。






べんりな機能


通話履歴機能

発信、着信の履歴をそれぞれ10件、保存しています。

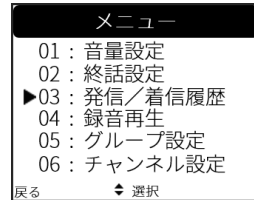
■ 確認方法

1 :  で [メニュー] 画面に切り替えます。
右上ボタン

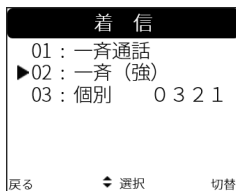
2 :  で [03:発信 / 着信履歴] を選択し、 で画面を切り替えます。
上下ボタン 決定ボタン

3 :  で [着信履歴] と [発信履歴] を切り替えます。
右上ボタン

メニュー画面



着信履歴画面



右上ボタンで切り替え



発信履歴画面




べんりな機能

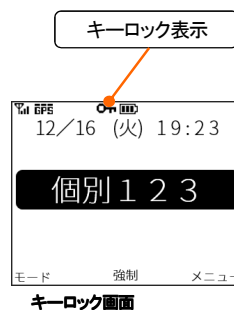
キーロック機能

キー入力を受け付けないようにし、運搬時などの誤動作を避けます。


■ 設定方法

- 1 :待受け画面でテンキーの  を長押しすることでキーロックになります。

ただし、キーロック中でも電源/音量ボタンは有効のままです。



■ 解除方法

- 2 :キーロックを解除する際は、再度テンキーの  を長押しします。




- * キーロック中でも、着信を受けることができます。
- * 着信すると、一時的にキーロックが解除されますが、終話後、再びキーロック状態に戻ります。



メッセージ機能



動態管理サービスを導入している場合、パソコンから、個々の無線局へメッセージを送る事ができます。

受け取ったメッセージは、メニューから再確認することができます。

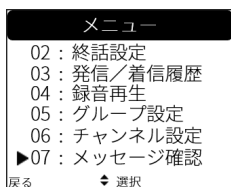
■ 再確認方法

1 :  で [メニュー] 画面に切り替えます。
右上ボタン

2 :  で [07:メッセージ確認] を選択し、 で画面を切り替えます。
上下ボタン 決定ボタン

3 :  で確認したいメッセージを選択し、 で画面を切り替えます。
上下ボタン 決定ボタン

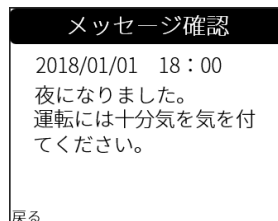
メニュー画面



メッセージ選択画面



メッセージ受信画面

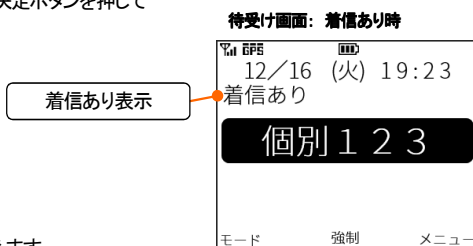


- * 動態管理サービスのお申し込みが必要です。詳しくは販売店にお問い合わせください。
- * 受け取ったメッセージは10件まで保存します。メニューより確認できます。








コールバック機能

個別通話時に本体を操作しないと待機画面に「着信あり」を表示します。

発信者へ通話する場合は、プレスボタンもしくは、決定ボタンを押して通話します。



■ 設定方法

- 1 :  で [メニュー] 画面に切り替えます。
右上ボタン
- 2 :  で [08:コールバック] を選択し、 で画面を切り替えます。
上下ボタン 決定ボタン
- 3 :  で [01:コールバック 設定]、[01:コールバック 機能] を選択し画面を切り替えます。
上下ボタン
- 4 :  で「ON」を選択し、 でチェックをつけることで設定となります。
上下ボタン 決定ボタン
- 5 :  で画面を切り替え、[02:アナウンス 時間]を選択し、アナウンス効果音の通知時間を
左上ボタン
設定します。[アナウンス 時間]設定は、エコモードに切り替わった時点で停止します。

メニュー画面

メニュー

- 03 : 発信/着信履歴
- 04 : 録音再生
- 05 : グループ設定
- 06 : チャンネル設定
- 07 : メッセージ確認
- ▶08 : コールバック

戻る ⇅ 選択



コールバック選択画面

コールバック

- ▶01 : コールバック設定
- 02 : モニター

戻る ▼ 選択



コールバック設定画面 (01選択)

コールバック設定

- ▶01 : コールバック機能
- 02 : アナウンス時間

戻る ▼ 選択



コールバック機能画面

コールバック機能

- ON
- OFF

戻る ▼ 選択



コールバック設定画面 (02選択)

コールバック設定

- 01 : コールバック機能
- ▶02 : アナウンス時間

戻る ▲ 選択



アナウンス時間画面

アナウンス時間

- 無し
- 1分
- 5分
- 10分
- 30分
- 1時間

戻る ⇅ 選択

バイブレーション機能

振動で着信やモード遷移を通知します。



* バイブレーション機能 ON 設定では、「電源 ON」「電源 OFF」「着信」「コールバック」「バッテリー残量なし」の場合に、バイブパターンが1回実行されます。

設定方法

[メニュー] → [09:機能設定] → [01:一般設定] → [02:バイブ設定]

* 通話種別ごとにバイブパターン設定ができます。

個別通話 : なし+3種類

強制系通話 : なし+3種類

他の同報通話 : なし+3種類

設定方法

[メニュー] → [09:機能設定] → [01:一般設定] → [04:着信設定] → [01:着信バイブ設定]

* バイブレーション機能 ON で、

マナーモード遷移した場合、バイブが振動します。

メニュー機能

■ メニュー

01:音量設定	スピーカの音量を変更できます。(0~20)
01:メイン	メインスピーカの音量を設定します。
02:イヤー	イヤースピーカの音量を設定します。
03:ハンド	ハンドマイクスピーカの音量を設定します。
04:イヤホン	ヘッドセットスピーカの音量を設定します。
02:終話設定	通話が終わった際の、待受け画面の選局状態を変更できます。
<input type="checkbox"/> 着信保持	相手局からかかってきた場合の通話モードを終話後、保持します。個別通話の場合は局番も保持します。
<input type="checkbox"/> 発信保持	自らが発信した局番、通話モードを終話後、保持します。
<input type="checkbox"/> 終話保持	発信着信に関係なく、最後に通話した局番、通話モードを終話後、保持します。
<input type="checkbox"/> 固定 : グループ	終話後に、ここで設定した局番、通話モードに切り替わります。登録してあるすべての個別局、通話モードを選択できます。
03:発信 / 着信履歴	発信と着信それぞれ10件分、過去の通話履歴を確認できます。
04:録音再生	直近10件の通話を録音しています。(相手局の音声のみ)
01:音声メモ	直近の10件と表示、再生、保存します。
02:保存録音	保存した録音を表示、再生します。
05:グループ設定	所属する通話グループの設定ができます。
01:メイン登録	所属するメイングループを設定します。
02:サブ登録	所属するサブグループを設定します。
03:所属グループ確認	現在、所属しているメイングループ、サブグループを表示します。
04:グループリスト	全グループをリスト表示します。
06:チャンネル設定	チャンネルの設定ができます。
01:チャンネル登録	所属するチャンネルを設定します。
02:チャンネル確認	現在、所属しているチャンネルを表示します。
03:チャンネル情報	現在、所属しているチャンネルに属している局番を50件までリスト表示します。
07:メッセージ確認	直近10件の受信メッセージを確認できます。
08:コールバック	コールバックとモニターの設定ができます。
01:コールバック設定	コールバックの設定ができます。
02:モニター	モニターの設定ができます。

09:機能設定	各種機能設定ができます。
01:一般設定	設定のリセットができます。
01:ホーム設定	待受け画面の通話画面／動態画面が選択できます。
02:バイプ設定	バイプ設定の有効／無効が選択できます。
03:マイク接続設定	マイク接続のなし／ハンドマイク／イヤホンマイクが選択できます。
04:着信設定	着信拒否、着信バイプの設定ができます。
01:着信バイプ設定	通話モードごとのバイプの設定ができます。
01:個別通話	なし、もしくはパターン1～3を選択できます。
02:強制系通話	なし、もしくはパターン1～3を選択できます。
03:その他通報系通話	なし、もしくはパターン1～3を選択できます。
02:拒否通話モード	着信拒否の設定をすることができます。
05:エコモード設定	エコモードの開始時間を設定します。
06:USB 接続設定	USB 通信が選択できます。
07:設定リセット	すべての設定を初期値にもどします。
02:ショートカット	ショートカット登録したリストを表示、解除ができます。
03:音質設定	イコライザー機能、マイク感度の調整ができます。
01:スピーカー音質	サウンドイコライザー機能を選択できます。
02:マイク感度	マイク感度を変更できます。
04:表示・照明設定	画面表示、照明の設定ができます。
01:コントラスト	画面のコントラスト調整ができます。
02:キーバックライト	キーバックライトの ON / OFF が設定できます。
03:バックライト	画面バックライトの ON / OFF が設定できます。
04:バックライト色	画面バックライトの背景色が設定できます。
05:照度センサ	照度センサの ON / OFF が設定できます。
05:効果音設定	各効果音の有無など設定ができます。
01:起動音	起動音の有無を選択できます。
02:キータッチ音	キータッチ音の有無を選択できます。
03:メッセージ受信音	メッセージ受信音を1度だけ鳴らすか連続で鳴らすかを選択できます。
04:通話モード選択音	通話モードアナウンス音の有無を選択できます。
05:効果音音量	効果音の音量バランスを設定します。
06:通話関連	通話関連の音の ON / OFF が設定できます。
01:コール音	ON / OFF が設定できます。
02:プレス音	ON / OFF が設定できます。
03:プレス解放音・ザ	ON / OFF が設定できます。
04:接続音	ON / OFF が設定できます。
05:切断音	ON / OFF が設定できます。
06:機器状態確認	ネットワーク状態、機器状態の確認ができます。
01:システム時刻	受信した時刻を表示します。
02:GPS 状態	GPS の接続状態を表示します。
01:測位状態	状態を表示します。

02:緯度経度	状態を表示します。
03:速度/方位/高度	状態を表示します。
04:GPS 時刻	時刻を表示します。
05:受信レベル	強度を表示します。
03:ネットワーク状態	3G パケット通信のアンテナレベルと通信状態を表示します。
01:アンテナレベル	状態を表示します。
02:通信状態	状態を表示します。
03:モジュール状態	3G モジュール状態を表示します。
04:電源電圧・電流	本機に入力されている電源電圧・電流の状態を表示します。
05:外部接続機器状態	機器の現在の状態を表示します。
01:各種キー	押したキーを表示します。
02:USB 接続状態	状態を表示します。
03:充電状態	電源・充電状態を表示します。
06:マイクテスト	プレスボタンを押すと録音開始、離すと再生します。
07:IPアドレス	本機のIPアドレスを表示します。
08:バージョン情報	ソフトウェアのバージョンやシリアルナンバーを表示します。
01:ソフトバージョン	本機ファームウェアバージョンを表示します。
02:シリアルナンバー	本機のシリアルナンバーを表示します。
03:認証情報	技適マークを表示します。
04:3G ファーム	3G モジュールファームウェアバージョンを表示します。
07:メンテナンス	販売店にて各種設定を行う際に使用します。パスワードが必要です。



お使いの機器の設定によっては使用できない項目もあります。詳しくは販売店にお問い合わせください。

こんなときは

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらときは、以下の事項をご確認ください。
それでも解決しないときは、販売店にご相談ください。

電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">■ 押下時間が不十分だと起動しません。電源ボタンをステータス LED が点灯するまで長押ししてください。■ 電池パックが正しく取り付けられているか確認してください。■ 電池の残量が不十分だと起動できません。電池を充電するか、新しい電池パックと交換してください。
ボタン操作できない	<ul style="list-style-type: none">■ キーロックがかかっていると、ボタン操作ができなくなります。キーロックがかかっていないか確認してください。
通話をしようとするが繋がらない	<ul style="list-style-type: none">■ 画面メッセージが表示された場合は内容を確認し、それぞれ以下の対処を行ってください。 「通話中です。しばらくしてからかけ直してください。」 相手局が通話中の場合、表示されます。しばらく待ってからかけ直してください。 「電源が入っていないか電波がとどかないためつながりません。」 相手局が電源オフの状態か、電波の届かない場所にいる可能性があります。 しばらく待ってからかけ直してください。 「該当する無線局が存在しません。」 システム上、未登録の番号です。相手局の番号をもう一度確かめて入力してください。 「電波状況が悪いため発信できませんでした。」 マイクのアンテナレベルを確認し、電波状況の良い場所でかけなおしてください。 「接続できませんでした。しばらくしてからかけ直してください。」 「現在、通話できません。しばらくしてからかけ直してください。」 ネットワークの異常の可能性があります。しばらく待ってからかけ直してください。
自分の声が伝わりにくい	<ul style="list-style-type: none">■ マイク集音口に口を近づけすぎると音質が悪くなることがあります。5cm 程度離して通話してください。■ マイク集音口を指などでふさがないように気をつけてください。■ メニューの機能設定より、マイク感度の変更が可能です。声の大きさにあわせてマイクの感度を変更してください。 設定方法 [メニュー] → [09:機能設定] → [03:音質設定] → [02:マイク感度]
通話している相手の声が聴こえにくい	<ul style="list-style-type: none">■ 音量設定が小さくなっていないか、音量の設定を確認してください。■ スピーカを手などでふさがないように気をつけてください。■ メニューの機能設定より、スピーカの音質の変更が可能です。周りの環境にあわせて聴きやすい音質に変更する事ができます。 設定方法 [メニュー] → [09:機能設定] → [03:音質設定] → [01:スピーカ音質]
充電ができない	<ul style="list-style-type: none">■ 電源コードが、充電クレイドルとコンセントに正しく接続されているか確認してください。■ USB ケーブルが正しく接続されているか確認してください。(USB 充電時)■ 電池パックが正しく取り付けられているか確認してください。

■ 主な仕様

寸法	W54 × D30 × H123 mm (突起物含まず)
重量	240g (電池パック装着時)
電源電圧	充電クレイドルからの電源供給 : DC5.5V (最大電流 : 2A) USBからの電源供給 : DC5.0V (最大電流 : 500mA) 付属電池/パック : DC3.8V (2420mAh)
消費電流	送信時 / 受信時 350mA (最大 500mA 以下) 待受時 260mA
使用可能時間	[通常モード] 約 9 時間 (受信 1:送信 1:待受 8 の使用状態にて) [エコモード] 約 13 時間 (同上) ※充電時間 約 180 分 (電源 OFF、クレイドル使用時)
周囲環境	動作温度 -20°C~60°C (充電時 0°C~40°C)
通信方式	3G (HSPA) 800 / 2100MHz
送信出力	最大 0.25W
伝送速度	受信 14.4Mbps (HSDPA) / 384kbps (W-CDMA) (最大) 送信 5.7Mbps (HSUPA) / 384kbps (W-CDMA) (最大)
GPS	あり
スピーカ出力	2 系統 : メインスピーカ 1W、イヤーレシーバー 0.01W
防水・防塵仕様	IP67 相当

- 本製品には、株式会社リコーが製作、販売したリコービットマップフォントを使用しています。
- 本書の一部または全部を無断で転載、複製、改変などを行うことを禁止します。
- 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更されることがあります。



モバイルクリエイティブ株式会社

〒870-0848 大分県大分市賀来北二丁目 20 番 8 号

<http://www.mcinc.jp>